

進士五十八の「公園革命」講演会

主催：特定非営利活動法人 国際造園研究センター

梅田北ヤード開発、2025大阪・関西万博など大型事業が進む大阪。大阪城公園、天王寺公園、万博記念公園など大型公園での民間による公園活用事業も盛んで、全国的には官民連携の先進地域とされています。しかし、これまで緑のまちづくりをリードし、未来への遺産となる造園空間を作り出してきた造園関係者の活躍の場・機会は、逆にだんだん狭く小さくなっています。

少子高齢社会の中で経済と活力が優先される今、日本の造園文化を支え、その発展を担ってきた私たちは、未来をどのように描き、どのように社会に貢献していくべきか？

この命題を、皆さんとともに本気で考えたいとの意図のもと、造園・ランドスケープへの鋭い見識と論説を発表されて、実社会のオピニオンリーダーとしても活躍されてきた進士五十八氏を迎え、造園界に新たな刺激を吹き込み、如何なるアクションを起こしていくべきか？をテーマに講演会を企画しました。またランドスケープ界若手との討論も行います。奮ってご参加ください。

日時 令和元年6月15日（土）午後2時～午後4時30分（受付午後1時30分～）

場所 大阪歴史博物館 講堂 （Osaka Metro谷町四丁目駅2号・9号出口徒歩2分）

後援 【予定】大阪府 （一社）公園管理運営士会西日本支部 （公社）日本造園学会関西支部
（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部 （一財）大阪府公園協会
（一財）大阪スポーツみどり財団 阪神造園建設業協同組合
（一社）公園からの健康づくりネット ほか

参加者 一般参加者：1000円（資料代ほか） 国際造園研究センター会員：無料

第一部 講演会 公園革命 —これからの社会と造園界への期待—

講師：進士五十八

福井県立大学長／東京農業大学名誉教授・元学長、農学博士（環境学・造園学）
著書に『日本の庭園』（中公新書）、『日比谷公園一百年の矜持に学ぶ』（鹿島出版会）、
『緑のまちづくり学』（学芸出版社）ほか多数。紫綬褒章、みどりの学術賞など。

第二部 パネル討論：私の仕事と未来

パネリスト 宮崎政雄（大阪府鳳土木事務所）、片木孝子（㈱空間創研）、
山崎有美子（(一財)大阪府公園協会）、

コメンテーター 進士五十八（講演者）

司 会 糸谷正俊（国際造園研究センター 副理事長）

参加申し込みは、[国際造園研究センターHP \(http://www.klrs.org/\)](http://www.klrs.org/) で受け付けています。

また、以下の申込用紙でFAXも可能。[申込締切6/10（月）まで（先着順）](#)。

講演会終了後の交流会（会費3000円程度）の参加可否もご記入下さい。

問い合わせ先：国際造園研究センター（TEL：06-6944-2040 FAX：06-6948-5282）

6月15日（土）進士五十八の「公園革命」講演会 参加申し込み

NPO法人 国際造園研究センター宛 FAX：06-6948-5282

①氏名	所属	連絡先（Tel）	
メールアドレス		交流会参加：参加する / しない	いずれかに○
②氏名	所属	連絡先（Tel）	
メールアドレス		交流会参加：参加する / しない	いずれかに○
③氏名	所属	連絡先（Tel）	
メールアドレス		交流会参加：参加する / しない	いずれかに○

